

令和5年9月26日  
これからの清瀬の図書館を創造する会  
資料2

# これからの清瀬の図書館を創造する会 (第2回)



# 本日のアジェンダ

- 会議開催日：令和5年9月26日 15時30分から17時30分まで
- 場所：中央図書館 会議室

No.	議題	内容（目的）	資料番号
1	前回の会議の振り返り	<ul style="list-style-type: none"><li>会議録をもとに前回の会議を振り返り議論された内容について認識の共有を図る。</li></ul>	資料1 資料2
2	これからの図書館サービスの方向性の検討	<ul style="list-style-type: none"><li>市教育委員会が前回の議論を踏まえて検討した「これからの図書館サービスの方向性」について事務局から説明する。</li><li>事務局の考え方に対するご意見をいただく。</li></ul>	資料2
3	次回の会議について	<ul style="list-style-type: none"><li>次回の会議内容、委員への依頼事項を確認する。</li></ul>	
4	その他		

(配布資料)

資料1 第1回会議録

資料2 第2回会議資料

# 1 前回の会議の振り返り

(令和5年6月23日第1回会議)

前回の会議及び追加提案で、次のようなご意見ができました。

利用者数の目標値はあるか？

なぜ利用者数を増やしたいのか？

図書館がまちづくりの中で求められる役割を踏まえた議論が必要。

他市の利用状況・実績の推移のデータはあるか？

学生として図書館を利用するが自習の場としての利用が主。

貸出数の増という目標は、市民の図書館へのニーズとズレていないか？

時期・時間帯別の利用状況のデータはあるか？

フリースペースの利用状況は把握が難しい。

交流会や子供向け事業などの現状の資料はあるか？

調べる学習コンクールの資料はあるか？

公共図書館と学校図書館は目的が違う。

面白いと感じる図書館は、本の見せ方を工夫している。

椅子と机や雰囲気づくりも大切。

東久留米の図書館は、一般的な建物だが、運営が工夫されている。(本の見せ方、選書の技量など)

見せ方の工夫は参考になる。作業量の増加やスキルも必要。薦書コーナー・展示コーナーの市民協働による運営が有効ではないか。

司書が年々減少している。司書に充てるための採用はしていない。

民間委託の検討も必要ではないか。

アウトソースの活用は市全体に渡る課題。図書館ではまだ具体的検討は済んでいない。

6館を減らすことは考えていないのか。市の規模に照らし施設が多い。

公共施設の機能を集約する等して全体の床面積を減らす方針である。6館を直ちに減らす方針は現在は持っていない。

現在施設を減らす計画はないが、その視点も踏まえた検討はできる。

南口を整備し、中央を廃止する計画がある。

中央の蔵書は南口に移転させるのか。

中央図書館の資料は分散所蔵することになる。

最終的な目標を具体的に示して欲しい

民間委託は考えているか？既に委託していると考えていた。

図書館に情熱を持っている者が運営する体制にすることが大切。

直営が苦手な部分を一部委託することも有効ではないか。

南口複合施設の図書館の情報を示して欲しい。

本の宅配サービスを検討してはどうか。

委員

事務局

追加提案

# 1 前回の会議の振り返り

## 検討手順に関する意見

利用者数の目標値はあるか？

学生として図書館を利用するが自習の場としての利用が主。

なぜ利用者数を増やしたいのか？

貸出数の増という目標は、市民の図書館へのニーズとズレていないか？

図書館がまちづくりの中で求められる役割を踏まえた議論が必要。

公共図書館と学校図書館は目的が違う。

最終的な目標を具体的に示して欲しい

# 1 前回の会議の振り返り

## 運営方法に関する意見・質問

面白いと感じる図書館は、本の見せ方を工夫している。

椅子と机や  
雰囲気づくりも大切。

東久留米の図書館は、一般的な建物だが、運営が工夫されている。（本の見せ方、選書の技量など）

見せ方の工夫は参考になる。作業量の増加やスキルも必要。薦書コーナー・展示コーナーの市民協働による運営が有効ではないか。

司書が年々減少している。司書に充てるための採用はしていない。

民間委託の検討も必要ではないか。

アウトソースの活用は市全体に渡る課題。図書館ではまだ具体的検討は済んでいない。

民間委託は考えているか？既に委託していると考えていた。

図書館に情熱を持っている者が運営する体制にすることが大切。

直営が苦手な部分を一部委託することも有効ではないか。

# 1 前回の会議の振り返り

## ハードに関する意見・質問

6館を減らすことは考えていないのか。市の規模に照らし施設が多い。

公共施設の機能を集約する等して全体の床面積を減らす方針である。  
6館を直ちに減らす方針は現在は持っていない。

現在施設を減らす計画はないが、その視点も踏まえた検討はできる。

南口を整備し、中央を廃止する計画がある。

中央の蔵書は南口に移転させるのか。

中央図書館の資料は分散所蔵することになる。

本の宅配サービスを検討してはどうか。

# 1 前回の会議の振り返り

## 新たな資料に関する意見

他市の利用状況・実績の推移のデータはあるか？

交流会や子供向け事業などの現状の資料はあるか？

時期・時間帯別の利用状況のデータはあるか？

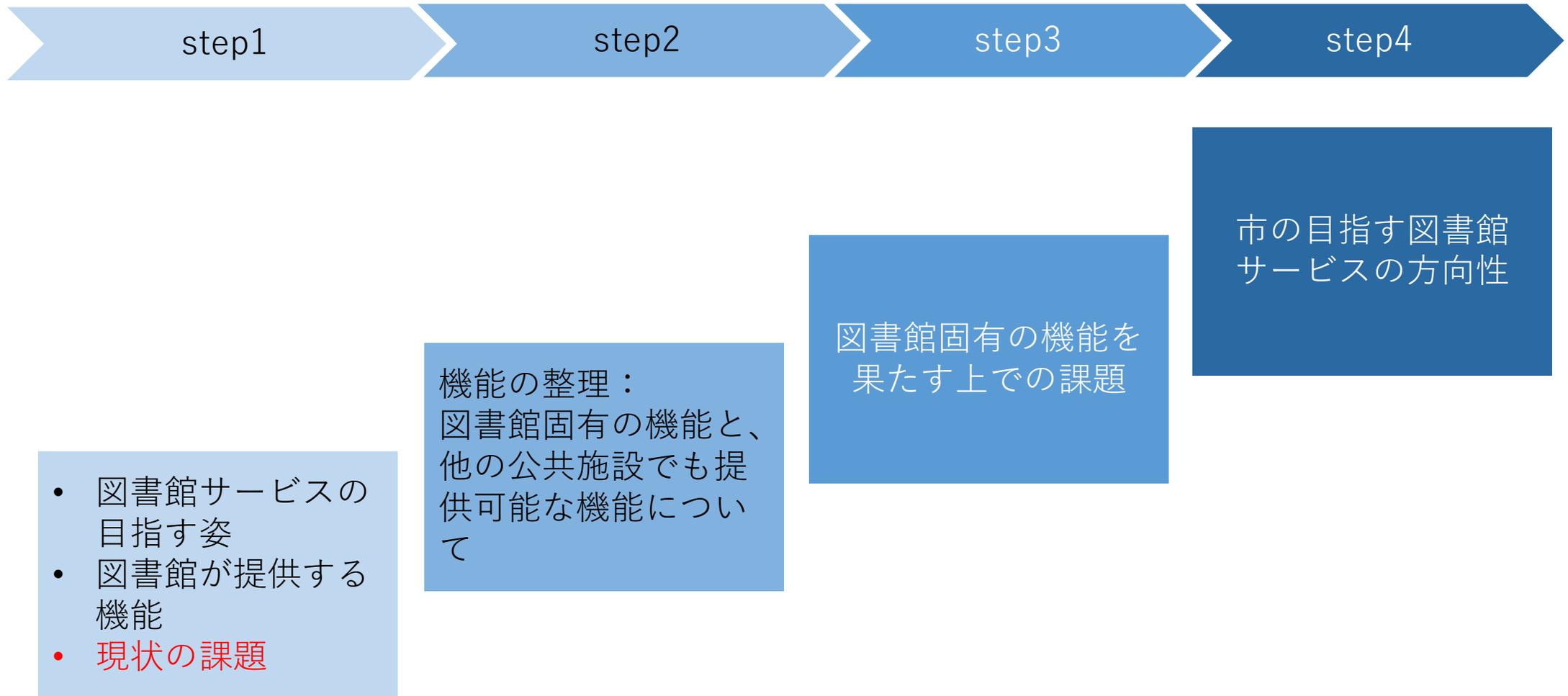
調べる学習コンクールの資料はあるか？

フリースペースの利用状況は把握が難しい。

南口複合施設の図書館の情報を示して欲しい。

## 2 これからの図書館サービスの方向性の検討

前回の会議の後、このような流れで検討しました。



## 2 これからの図書館サービスの方向性

step1

清瀬市長期総合計画（図書館部分）では次のとおり示されています。

- 図書館サービスの目指す姿
- 図書館が提供する機能
- 現状の課題

1

将来像（5つの将来像の1つ）

安全でうるおいのある暮らしができるまち

みんながそれぞれ尊重し合い、安全で安心して暮らし、豊かな生活を送ることができるまちをめざします。

12

基本目標

生きがいを持って文化的に生活できるまち

施策  
122

【生涯学習活動の支援】 生涯学習機会の充実や、特徴を生かした図書館運営などによって、市民の生涯学習に対する意欲が高まっています。また、学んだ市民がその成果を発揮し、新たに指導的立場となって地域で活躍する「学びの循環」が生まれています。

施策の方向性：

地域の情報拠点としての図書館サービスの充実に努めます

- 多様化する市民ニーズに応えるため、さまざまな媒体の資料収集に努めるとともに、他市や大学図書館との相互利用を進めます。
- 日常生活で生じるさまざまな課題に対する情報を提供します。
- 児童向けサービスに積極的に取り組むことで、「読書の清瀬」を実践するとともに、読み聞かせやハンディキャップサービスのボランティアとなる人材を生かした事業を推進します。

## 2 これからの図書館サービスの方向性

step1

- 図書館サービスの目指す姿
- 図書館が提供する機能
- 現状の課題

清瀬市教育総合計画マスタープラン（図書館関連）では次のとおり示しています。

柱1 健康で生きがいのある  
学び・活動を支援します

方向性  
1 市民ニーズに応じた生涯学習活動の支援  
－ 生涯学習の情報を発信 －

方向性  
2 生涯学習施設の学びとコミュニティ機能の推進  
－ 生涯学習の施設（場）と事業を提供 －

方向性  
3 「生きる力考える力」を高め、伝えるための世代を超えた学びの場の提供  
－ 体験活動の機会の提供 －

柱2 家庭の教育力向上を支援します

方向性  
4 保護者への様々な学びや交流の場の提供  
－ 地域や児童福祉の分野とも連携し、学びや交流の場を提供 －

方向性  
5 家庭の教育力向上のための普及・啓発  
－ 子供たちの学びと育ちを支える地域活動や子育てに関する情報を提供 －

柱3 学力を保証し健やかな  
心と体を育てます

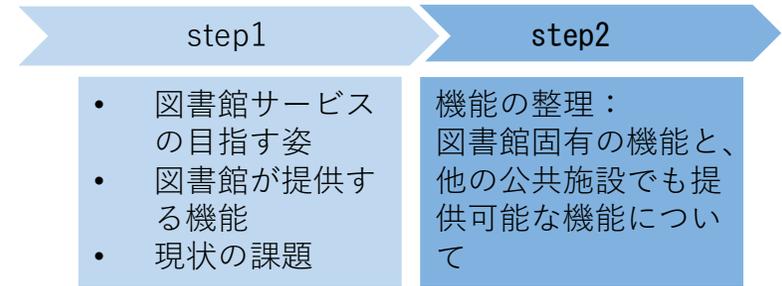
方向性  
8 学びへの関心や意欲を高めるための教育の推進  
－ 指導方法の工夫や機器の適切な活用によって、子どもの学習への興味関心や意欲的な態度を育む －

柱4 郷土の自然や文化への  
学びを支援します

方向性  
13 清瀬の文化や歴史を深く学ぶことのできる機能の強化  
－ 郷土文化を学べる機能を高める －

## 2 これからの図書館サービスの方向性

計画に示された図書館サービスの方向性を実現するために図書館が担っている機能は次のとおりです。



	サービスの現状	図書館でなければ発揮できない機能	他の公共施設でも発揮できる機能
資料収集	資料を選定し館長が確認の上発注をしています。リクエストが出た新刊の情報を確認し、蔵書として収集するか判断していきます。	●	
レファレンス	利用者自身がWEB上で調べることが可能なため、利用は少なくなっていますが、何らかの情報、資料を求めている利用者に対して情報提供し支援しています。	●	
閲覧・サロン（新聞・雑誌）	日々情報が更新される新聞は相当数の市民が館内で閲覧しています。また雑誌の最新号は貸出をしていないため館内での利用が多くなる傾向にあります。		●
自習スペース	閲覧室は自習の場として利用されています。夏休みや試験前は混雑し、通常4人掛け席に3人程度の利用があります。		●
資料貸出	市民が借りたい本や雑誌等の貸出をしています。清瀬市で所蔵していないものは一部制限がありますが他市の図書館から借り入れることもあります。	●	
子供向け事業	週に一度駅前を除く5館でおはなしのじかんを行っています。また、子ども会やスタンプラリー、ブックスタート事業等様々な事業を行っています。	●	
大人向け事業	読書交流会やDVD上映会を中央図書館で行っています。また、各図書館では、平和記念事業など様々なテーマで本の展示を行っています	●	
障害者サービス	対面朗読、デイジー図書の作成や録音図書テープ等の資料の貸出を行っています。市民の希望により、個人の資料を音訳するサービスも行っています。	●	

## 2 これからの図書館サービスの方向性

step3

図書館の機能を果たす上での現状・課題

図書館固有の機能を  
果たす上での課題

資料集参照

## 2 これからの図書館サービスの方向性

市の目指す図書館  
サービスの方向性

1

知的好奇心を満足させるサービス（利用しやすいサービス）

（1）図書館の基本的機能（資料収集、整理、保存、提供）を充実する。

- ① ニーズに適した資料収集
- ② レファレンスサービス
- ③ 情報発信の充実
- ④ 郷土の歴史や文化

（2）すべての市民が利用しやすい図書館サービス基盤を整備する。

- ① 宅配サービス
- ② 障害者サービス

2

市民とともに歩み、他の機関（自治体、大学、多摩六都科学館など）と交流する

（1）来て、見て、参加することで、新たな発見や深い学び、読書の喜びを知るきっかけを提供する。

- ① 読書交流会、DVD上映会など
- ② 運営ボランティア

（2）専門的な機関と協働し、より図書館に親しんでもらえるサービスを提供する。

- ① 大学との連携
- ② 専門機関との連携

## 2 これからの図書館サービスの方向性

step4

市の目指す図書館  
サービスの方向性

3

子供たちに読書の楽しみを広げるサービス

- (1) 生涯の読書習慣を礎となる乳幼児期の読書環境を整備する。
- (2) 保護者の読書の重要性への理解を促進する。
  - ① 赤ちゃんとお母さんのためのおはなしのじかん
- (3) 学校教育を支援する。
  - ① 図書館を使った調べる学習コンクール
  - ② 市内公立小学校を訪問し、図書館紹介・ブックトーク・素話等を実施

4

ニーズをとらえたサービス

- (1) 他の公共施設と連携しながら利用環境の向上を図り、「学びの場」「憩いの場」「居心地のよい空間」としての機能を果たす。
  - ① 自習スペース
  - ② 新聞・雑誌コーナー
  - ③ 閲覧スペース
- (2) 図書館機能を再構成する。
  - ① 6館の機能の見直し
- (3) 持続可能なサービスを提供できる仕組みをつくる。
  - ① アウトソーシング
  - ② 宅配サービス（再掲）